

令和 5 年度を振り返って

令和 5 年度も残りわずかとなりました。

今年度を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行し、低迷していた水産物需要や魚価が回復基調となるなど明るい兆しが見られました。

一方で、主要魚種の不漁、養殖魚の赤潮被害、燃油・飼料価格の高騰、ALPS 処理水海洋放出に伴う風評被害、能登半島地震に伴う漁業被害の発生など、漁業を取り巻く環境は厳しさを増しています。

今日において「ぎよさい」と「積立ぶらす」への加入は漁業経営を継続する上で欠かすことのできないものとなっております。今後も漁業者からの制度への期待に応えていけるよう、事業の円滑な運営に努めて参ります。

現在、国は、水産基本計画等に基づいた「ぎよさい」と「積立ぶらす」の制度見直しの検討を進めております。その検討にあたっては、関係各所と緊密に連携し、漁業実態の変化や、漁業者の意見が十分反映されるよう努力して参ります。

新年度も「ぎよさい」と「積立ぶらす」の普及推進等、ご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

令和 5 年度の加入実績 (2 月末累計)

(単位：百万円)

区 分	共済金額			漁業者積立額		
	本年度	前年度	前年比	本年度	前年度	前年比
漁 獲 共 済	320,784	314,832	102%	20,679	20,337	102%
養 殖 共 済	224,656	200,811	112%	8,731	7,746	113%
特 定 養 殖 共 済	115,487	115,284	100%	4,037	4,077	99%
漁 業 施 設 共 済	19,857	19,647	101%			
地 域 共 済	11,607	11,498	101%			
合 計	692,391	662,072	105%	33,447	32,160	104%